

パトリスティカ

—教父研究—

第12号

2008年

目次

卷頭言	塩谷 憲子	2			
視覚的言語のかなたへ					
—『告白』第七卷第十章一六節・					
『詩篇講解』第四一篇——加藤 武					
アウグスティヌスの『創世記』解釈と詩編の引用					
—『告白』第二二卷に即して— 田内 千里					
ニュッサのグレゴリオスにおける救貧と否定神学					
—名辞の神学への一試論— 土井 健司					
アンティオキア糺義学派におけるエウドキア					
【ボーリーン・アレン教授講演】					
二十一世紀の視点から教父の社会倫理的テキストを 読む際の課題……ボーリーン・アレン（土橋恵子訳）					
【加藤信朗著『アウグスティヌス『告白録』講義』書評会記録】					
加藤武（司会）、水落健治・荒井洋一・久米博（特定質問）、 加藤信朗（著者コメント）……………武藤 慎一					
教父研究会活動報告					
教父研究会役員					
編集後記					
『パトリスティカ』既刊号目次					
表紙デザイン 小川まさえ 甲骨文字「聖」					
(1) 138137137 93	75	55	37	21	7